



国際紙パルプ商事株式会社
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

2019年3月期 第2四半期決算説明会資料

2018年12月7日

国際紙パルプ商事株式会社

(東証1部／9274)



I 会社概要

II 2019年3月期第2四半期 業績

III 2019年3月期連結業績予想

IV 中期戦略



- 2019年3月期第2四半期の業績は前期比減収減益
- 2019年3月期通期業績予想を修正
- 事業領域の拡大と新たな収益源の多様化により、
中期的な成長を図る



I 会社概要



■ 創立94年の紙卸売代理店

会社名	国際紙パルプ商事株式会社	大株主	王子ホールディングス株式会社	17.06%
設立	1924年11月 (大正13年)		日本製紙株式会社	9.07%
代表者	代表取締役 社長執行役員CEO 田辺 円		株式会社みずほ銀行	3.82%
本社所在地	東京都中央区明石町6-24		国際紙パルプ商事従業員持株会	3.62%
資本金	4,723百万円		株式会社三菱UFJ銀行	3.51%
従業員数	992名 (連結)		株式会社三井住友銀行	3.51%
			農林中央金庫	3.51%
		北越コーポレーション株式会社	3.37%	
		三菱UFJ信託銀行株式会社	2.92%	
		三井住友海上火災保険株式会社	2.45%	

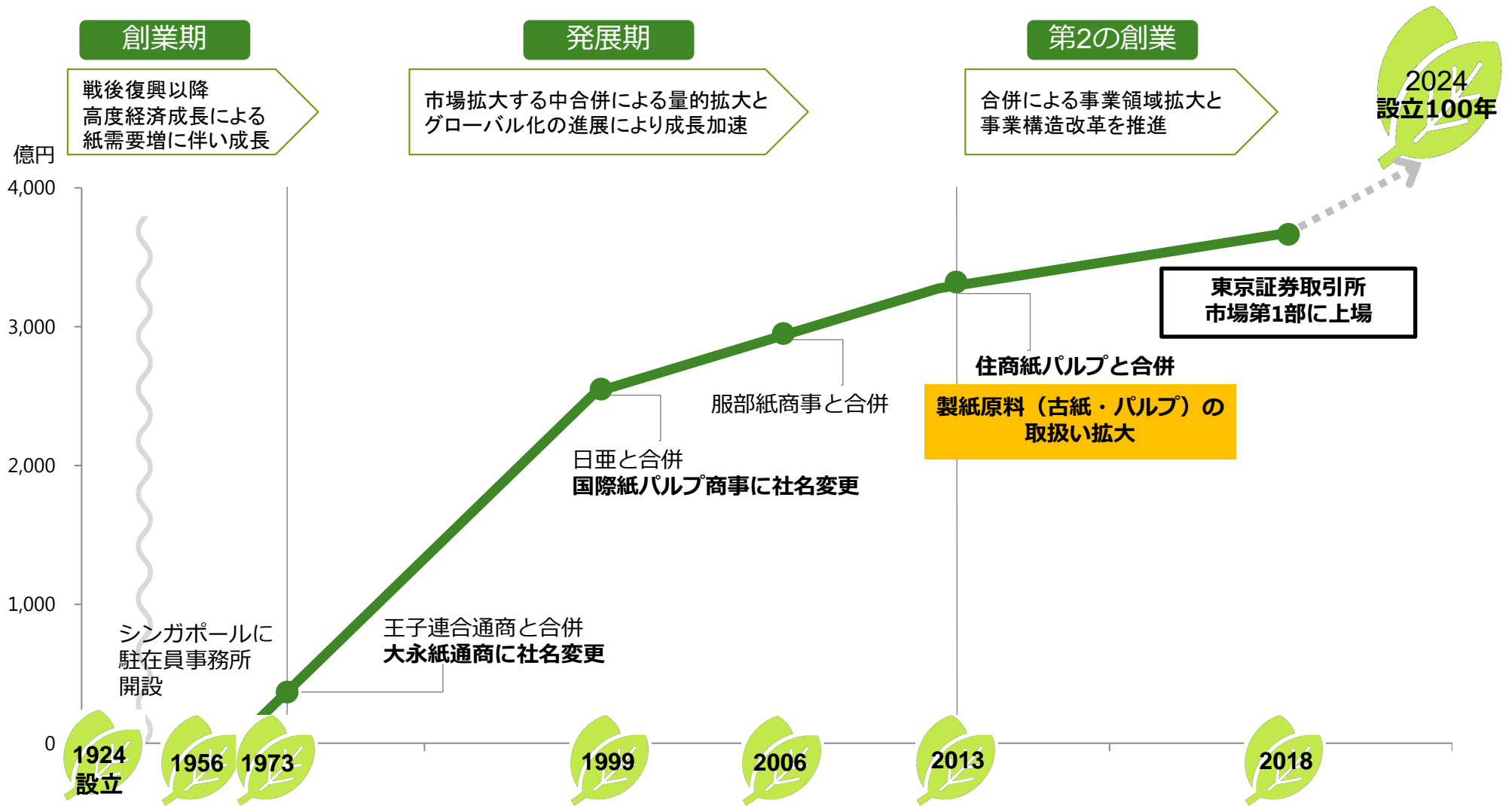
当社グループ (子会社21社・関連会社10社) の主な関係会社

国内拠点紙パルプ等卸売事業		海外拠点紙パルプ等卸売事業	
国際紙パルプ商事 (株)			
連結子会社	持分法適用関連会社	連結子会社	持分法適用関連会社
鳴海屋紙商事 (株)	グリーンリメイク (株)	DaiEi Papers (H.K.) Limited	MISSION SKY GROUP LIMITED
大同紙販売 (株)	(株) グリーン藤川	慶真紙業貿易 (上海) 有限公司	成都新国富包装材料有限公司
九州紙商事 (株)		DaiEi Papers (USA) Corp.	
岡山紙商事 (株)		DAIEI AUSTRALASIA PTY.LTD.	
むさし野紙業 (株)		DAIEI PAPERS (S) PTE.LTD.	
(株) グリーン山愛		DAIEI PAPERS TRADING INDIA PVT.LTD.	
ハウカンTOKYOビジネスサービス(株)		DaiEi Papers Korea Co.,Ltd.	
KPPロジスティックス (株)		DAIEI PAPERS BRAZIL EIRELI.	
		KPP ASIA-PACIFIC PTE. LTD.	



ターニングポイント

■ 量的拡大から事業領域拡大を目指す合併に質的变化 新たな戦略推進に向けて第2の創業



※縦軸は当社売上高



■ 紙・板紙の販売の一方で製紙原料となる古紙を回収し製紙会社に納入

在庫・配送機能

金融機能

情報提供機能

動脈ビジネス



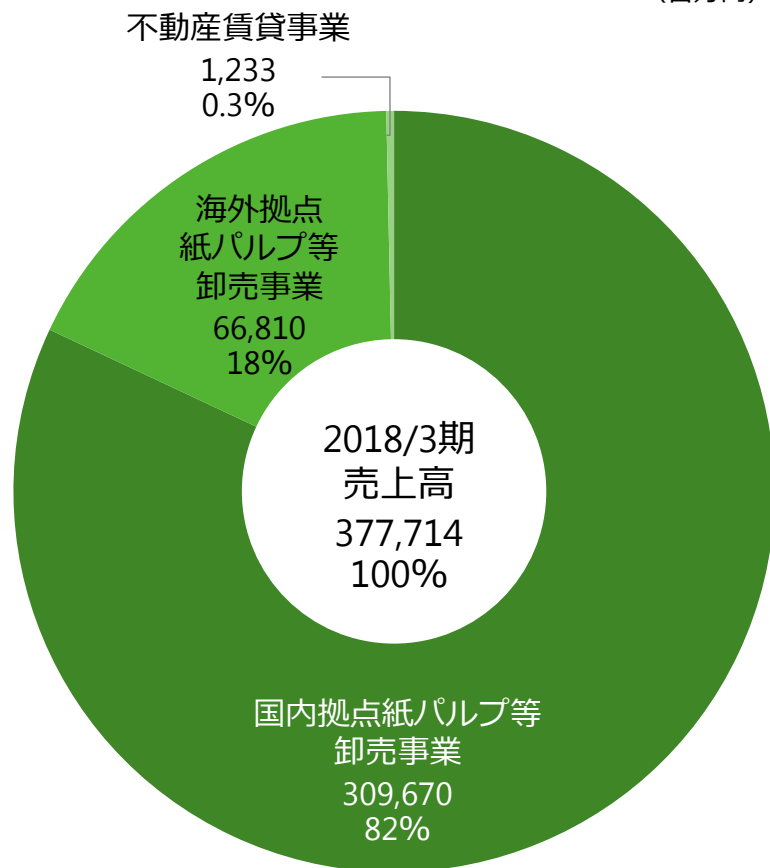
静脈ビジネス





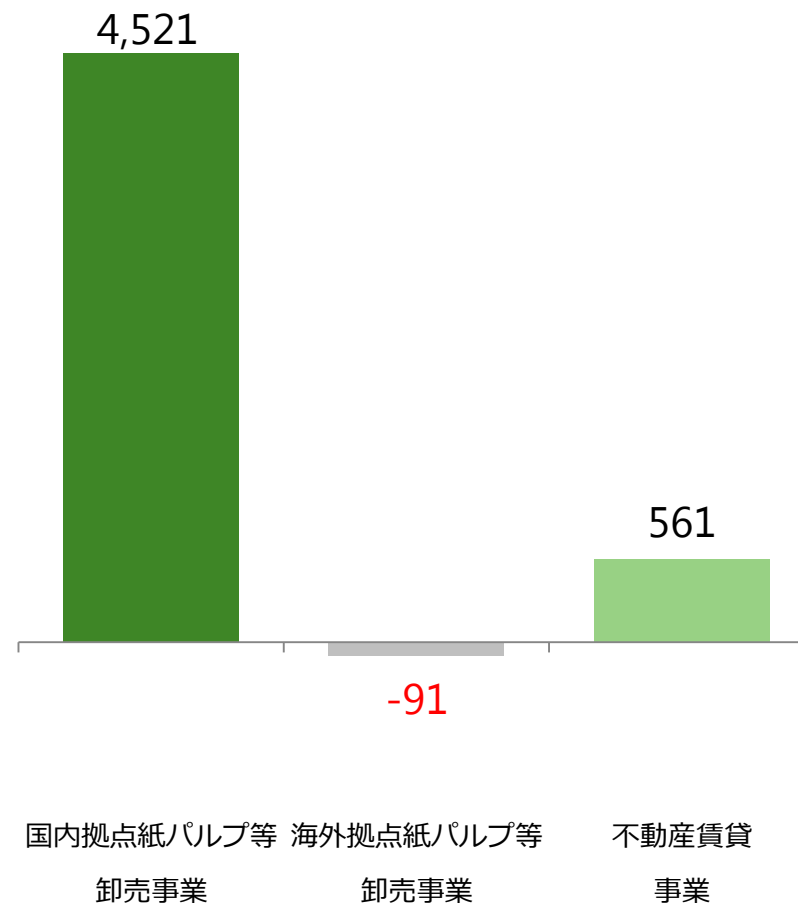
セグメント別売上高

(百万円)



セグメント別営業利益

(百万円)



品種別売上高構成比 (2018年3月期)



紙



印刷・筆記用紙等
(雑誌・書籍・チラシ・PPC・
ノート・カタログ等)

板紙



段ボール原紙・
紙器用板紙等
(段ボール箱/菓子・化粧品・
薬等の小箱など)

紙二次加工品



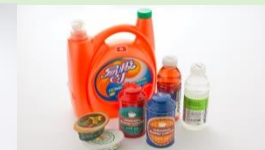
感熱紙・タック紙等
(レシート・FAX用紙・
シール・ラベル等)

製紙原料



パルプ・古紙等

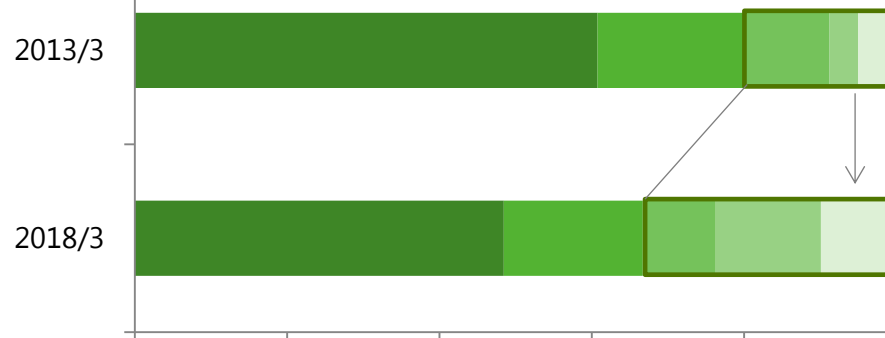
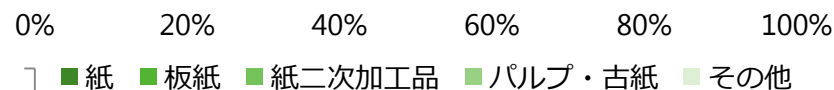
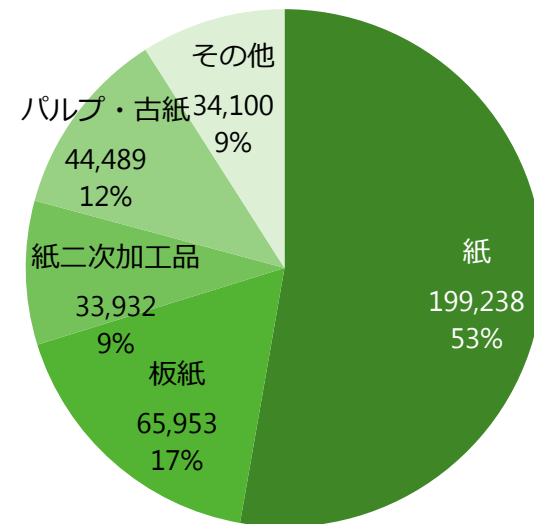
その他



化成品・機能紙等
(軟包装フィルム・トレー・
飲料用紙パック原紙等)

品種別売上高構成比

(百万円)





Ⅱ 2019年3月期第2四半期 業績



- 国内拠点紙パルプ等卸売事業では古紙や紙の販売が減少し、海外拠点紙パルプ等卸売事業ではシンガポール・豪州等において販売が減少したことにより、売上高・各利益段階で前年同期比減収減益

(単位：百万円)	2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期		前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減比率
売上高	187,706	100.0%	183,619	100.0%	△4,087	△2.2%
売上総利益	10,939	5.8%	10,628	5.8%	△310	△2.8%
販売費及び一般管理費	9,735	5.2%	9,610	5.2%	△124	△1.3%
営業利益	1,203	0.6%	1,017	0.6%	△185	△15.4%
経常利益	1,567	0.8%	1,067	0.6%	△499	△31.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	994	0.5%	706	0.4%	△287	△28.9%

2019年3月期第2四半期 セグメント別概況



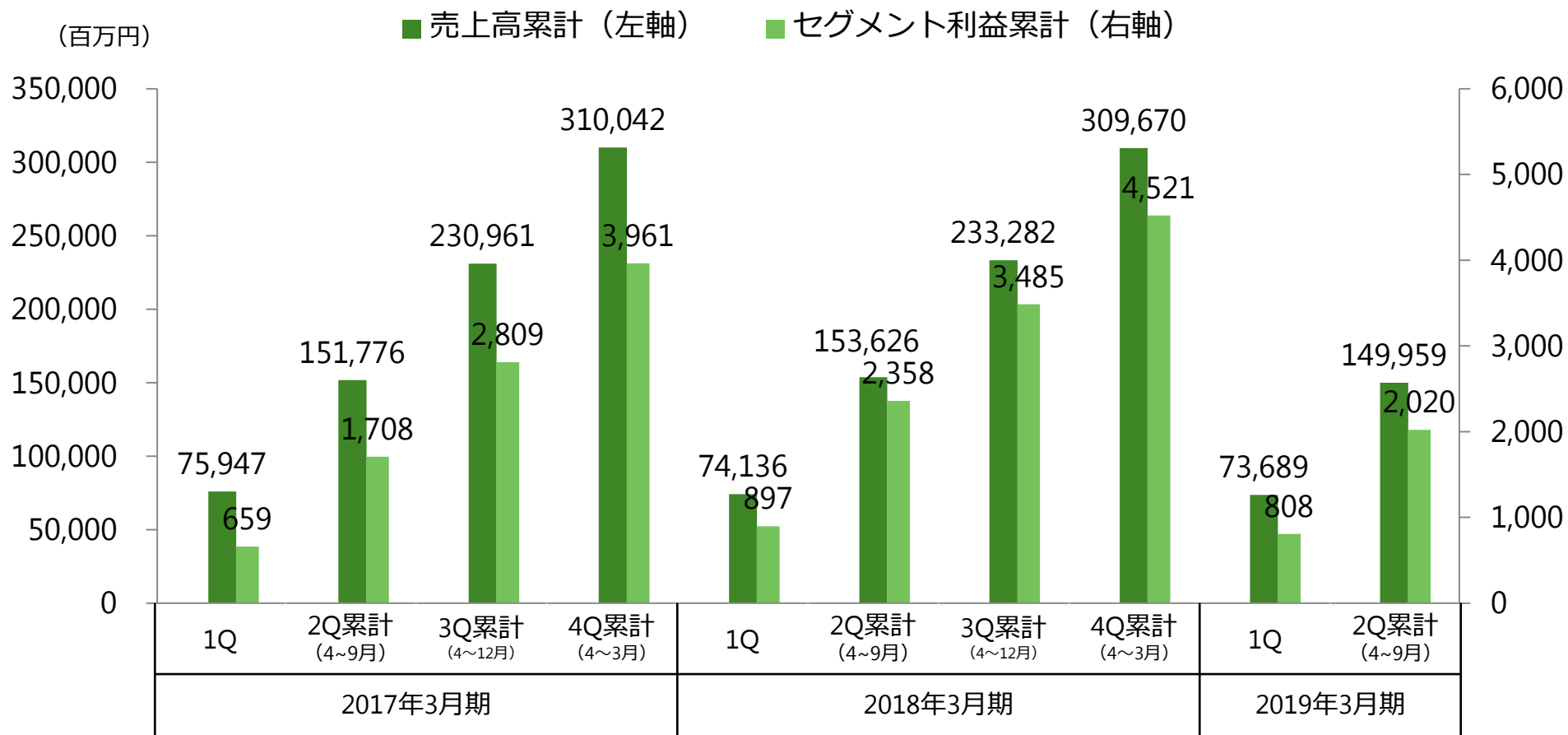
(単位：百万円)		2018年3月期 第2四半期	2019年3月期第2四半期		前年同期比	
				構成比	増減	増減率
国内拠点紙パルプ等 卸売事業	売上高	153,626	149,959	81.7%	△3,666	△2.4%
	セグメント利益	2,358	2,020	86.7%	△338	△14.3%
	利益率	1.5%	1.4%	—	△0.1 P	—
海外拠点紙パルプ等 卸売事業	売上高	33,461	33,059	18.0%	△401	△1.2%
	セグメント利益	7	1	0.07%	△6	△79.7%
	利益率	0.02%	0.005%	—	△0.02 P	—
不動産賃貸事業	売上高	618	599	0.3%	△18	△3.1%
	セグメント利益	251	307	13.2%	+56	+22.6%
	利益率	40.6%	51.3%	—	+10.7 P	—
合計	売上高	187,706	183,619	100.0%	△4,087	△2.2%
	セグメント利益	2,616	2,329	100.0%	△287	△11.0%
	調整額	△1,412	△1,311	—	101	—
	営業利益	1,203	1,017	—	△185	△15.4%
	利益率	0.6%	0.6%	—	—	—

※売上高・・・外部顧客への売上高

2019年3月期第2四半期 国内拠点紙パルプ等卸売事業



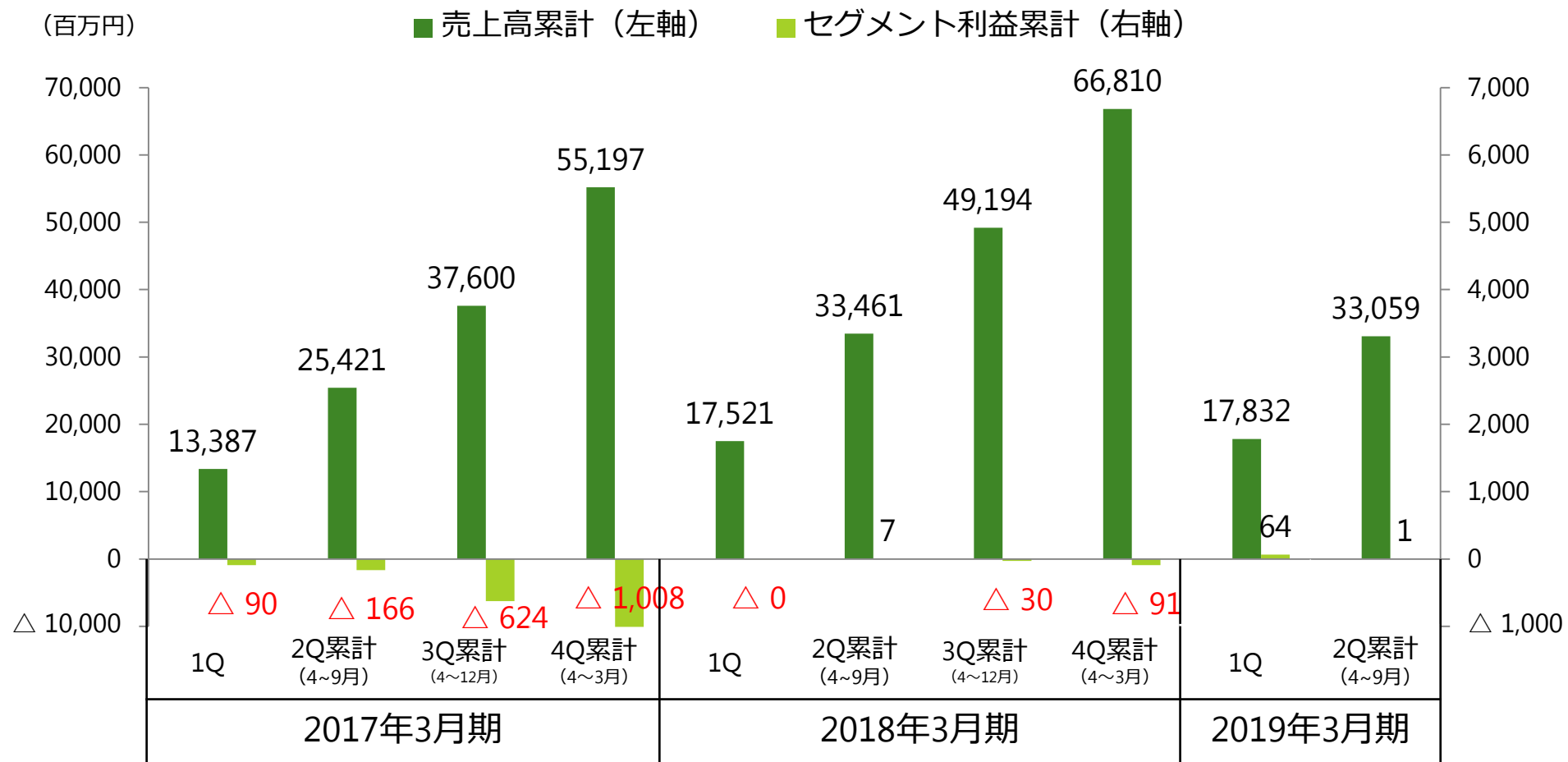
- 板紙は単価の上昇や飲料向けユーザーへの拡販等により売上増加も、古紙は豪雨・台風等で発生量が減少したことに加えて単価下落により売上減少、紙も需要減少による印刷用紙等の売上減少により、前年同期比減収
- 古紙や紙の売上の減少に伴い、セグメント利益も前年同期比減益



※売上高・・・外部顧客への売上高



- 香港における為替の円高による影響や、シンガポールにおけるインド向けの販売減少、豪州における販売減少等により、前年同期比減収
- 売上の減少に伴い、セグメント利益も前期比微減

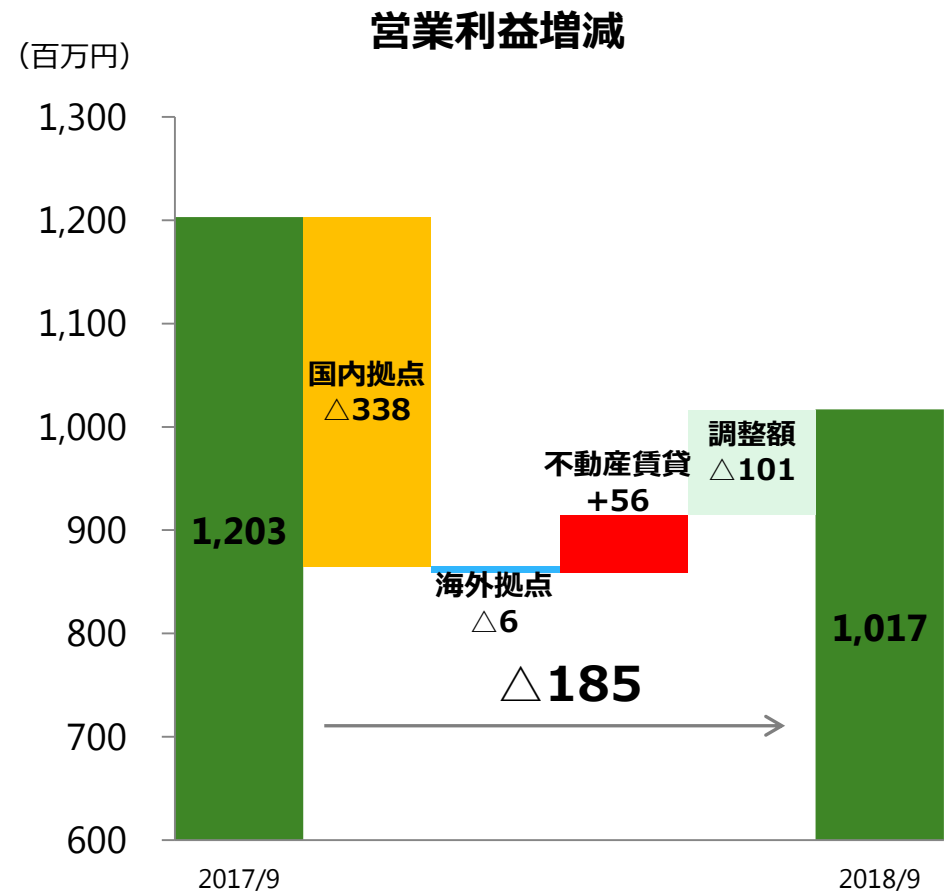
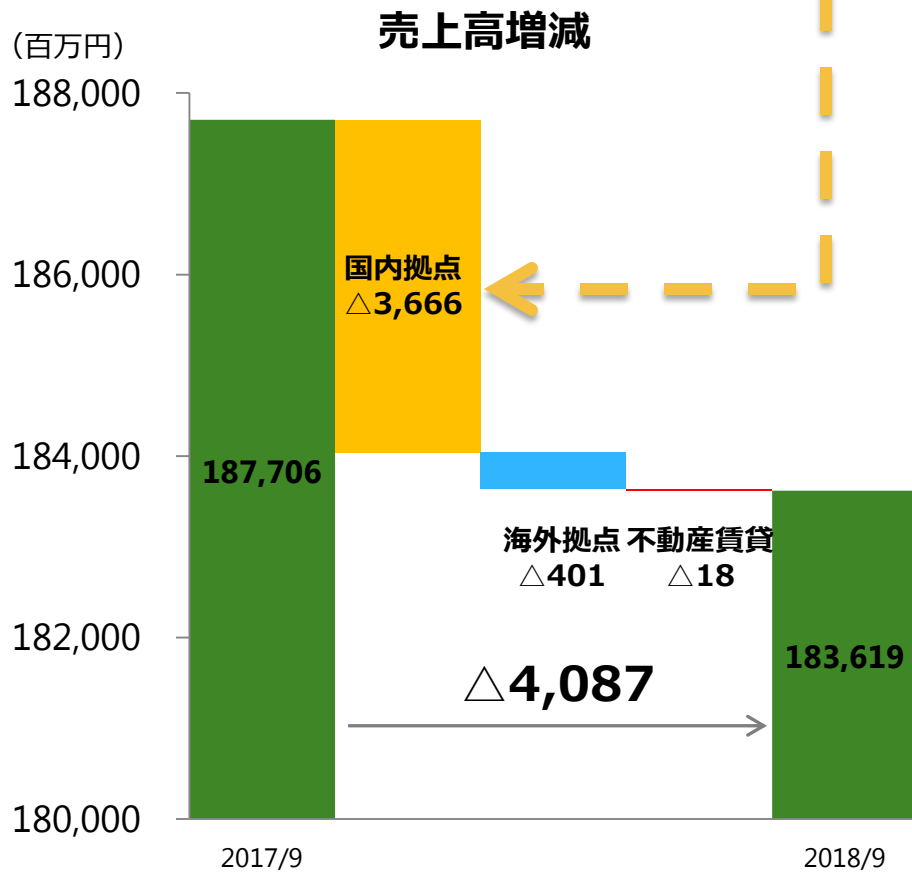


※売上高・・・外部顧客への売上高



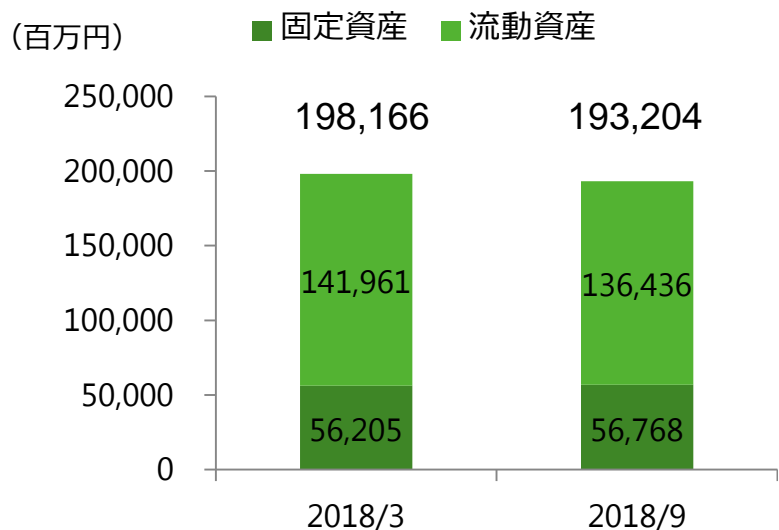
セグメント別売上高・セグメント利益増減要因

紙	数量増加も市況軟化により減収
板紙	数量増加に加え昨年の値上げもあり増収
紙2次加工品	タック紙の減少により減収
古紙	昨年よりも単価下落により減収
パルプ	数量減少も市況高止まりにより増収
その他	機械販売の減少により減収



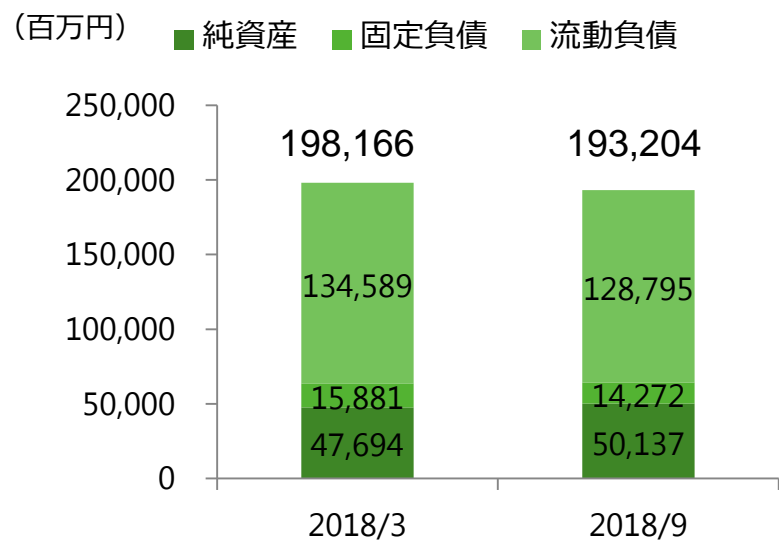
※売上高・・・外部顧客への売上高

連結貸借対照表



流動資産		136,436 (△5,524)
現金及び預金	3,298 (△879)	
受取手形及び売掛金	104,527 (△1,165)	
電子記録債権	11,318 (△1,890)	

固定資産		56,768 (+562)
有形固定資産	24,774 (△103)	
無形固定資産	3,359 (+162)	
投資その他の資産	28,634 (+504)	



流動負債		128,795 (△5,794)
支払手形及び買掛金	80,306 (△3,852)	
短期借入金 (含むCP)	38,733 (△1,874)	

固定負債		14,272 (△1,609)
長期借入金	7,109 (△1,975)	

純資産		50,137 (+2,442)
資本金	4,723 (+1,280)	新規上場に伴う資本増加
資本剰余金	8,951 (+1,280)	新規上場に伴う資本増加
利益剰余金	28,763 (+213)	



(単位：百万円)	2018/9	主な内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,390	税引前利益 +1,142 仕入債務の減少 △3,634 売上債権の減少 +2,475 棚卸資産の減少 +1,349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95	有形及び無形固定資産の取得による支出 △282 投資有価証券の売却による収入 +193 貸付けによる支出 △186
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,142	コマーシャル・ペーパーの純減額 △3,000 株式の発行による収入 +2,561 長期借入金の返済による支出 △1,415
現金および現金同等物に係る換算差額	△119	
現金および現金同等物の増加額（△減少額）	△968	
現金および現金同等物の期首残高	4,135	
現金および現金同等物の四半期末残高	3,295	



Ⅲ 2019年3月期 連結業績予想

2019年3月期 連結業績予想



- 売上高は中国・香港などで紙の販売増加を見込んでいることや、国内で板紙や輸入パルプの拡販等を見込み、前期比増収。営業利益は古紙やパルプの価格下落、販管費の増加等を見込み、前期比減益
- バイオマス発電所運転支援システムの開発費用等により、営業利益・経常利益は下方修正も、固定資産売却益約15億円により、当期純利益は上方修正

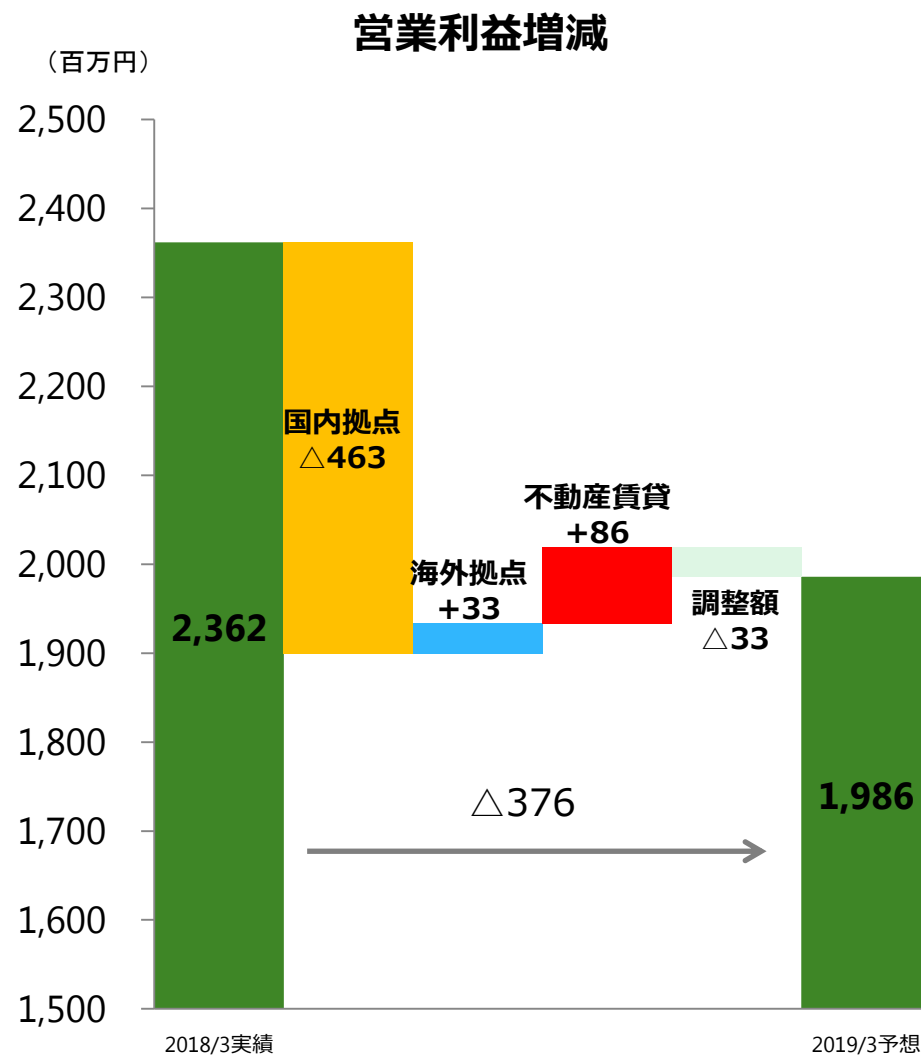
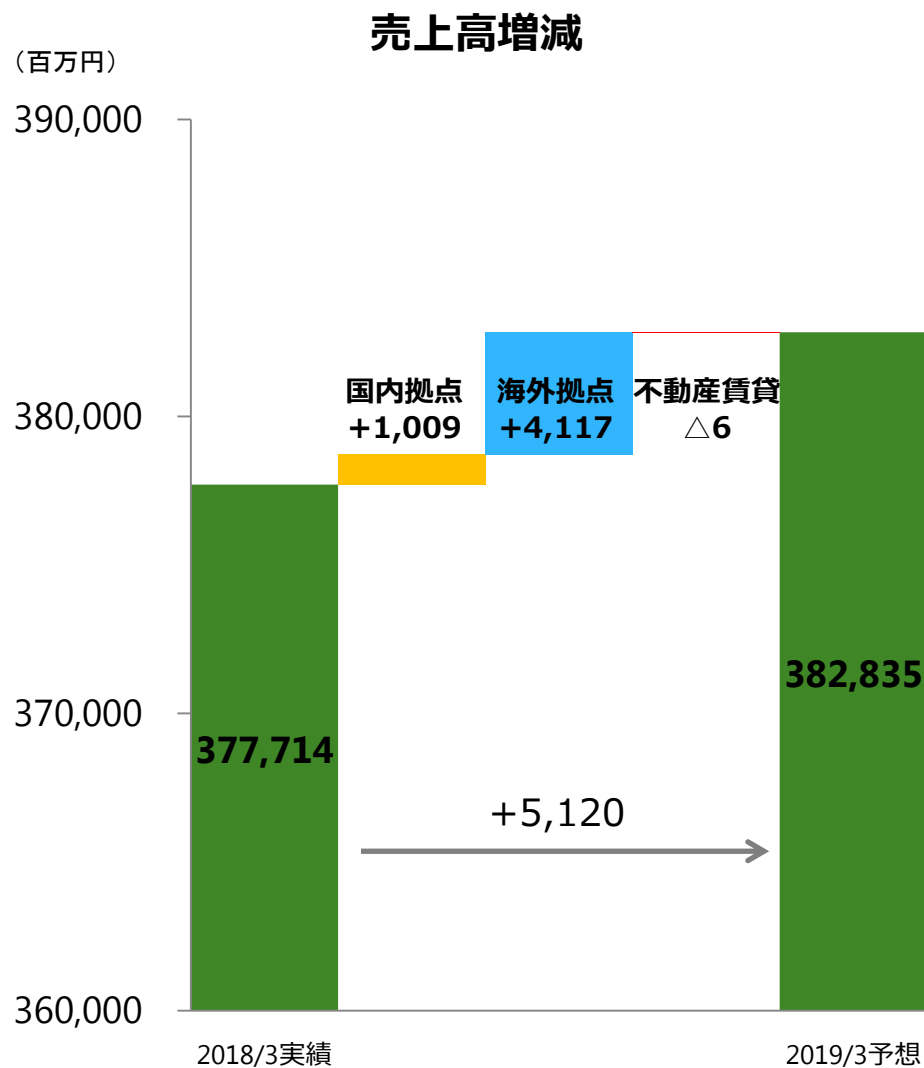
(単位：百万円)	2018年3月期実績 (A)		2019年3月期予想				前期比	
		売上比	6/26発表 (B)	11/14修正 (C)	売上比	当初予想比 (C-B)	増減 (C-A)	増減比率
売上高	377,714	100.0%	382,835	382,835	100.0%	—	+5,120	+1.4%
営業利益	2,362	0.6%	2,246	1,986	0.5%	△259	△376	△15.9%
経常利益	3,086	0.8%	2,535	2,130	0.6%	△404	△955	△31.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,433	0.6%	1,813	2,243	0.6%	+429	△190	△7.8%
1株当たり当期純利益	36.55円	—	24.94円	31.67円	—	+6.73円	△4.88円	—

2019年3月期 連結業績予想 セグメント別概況



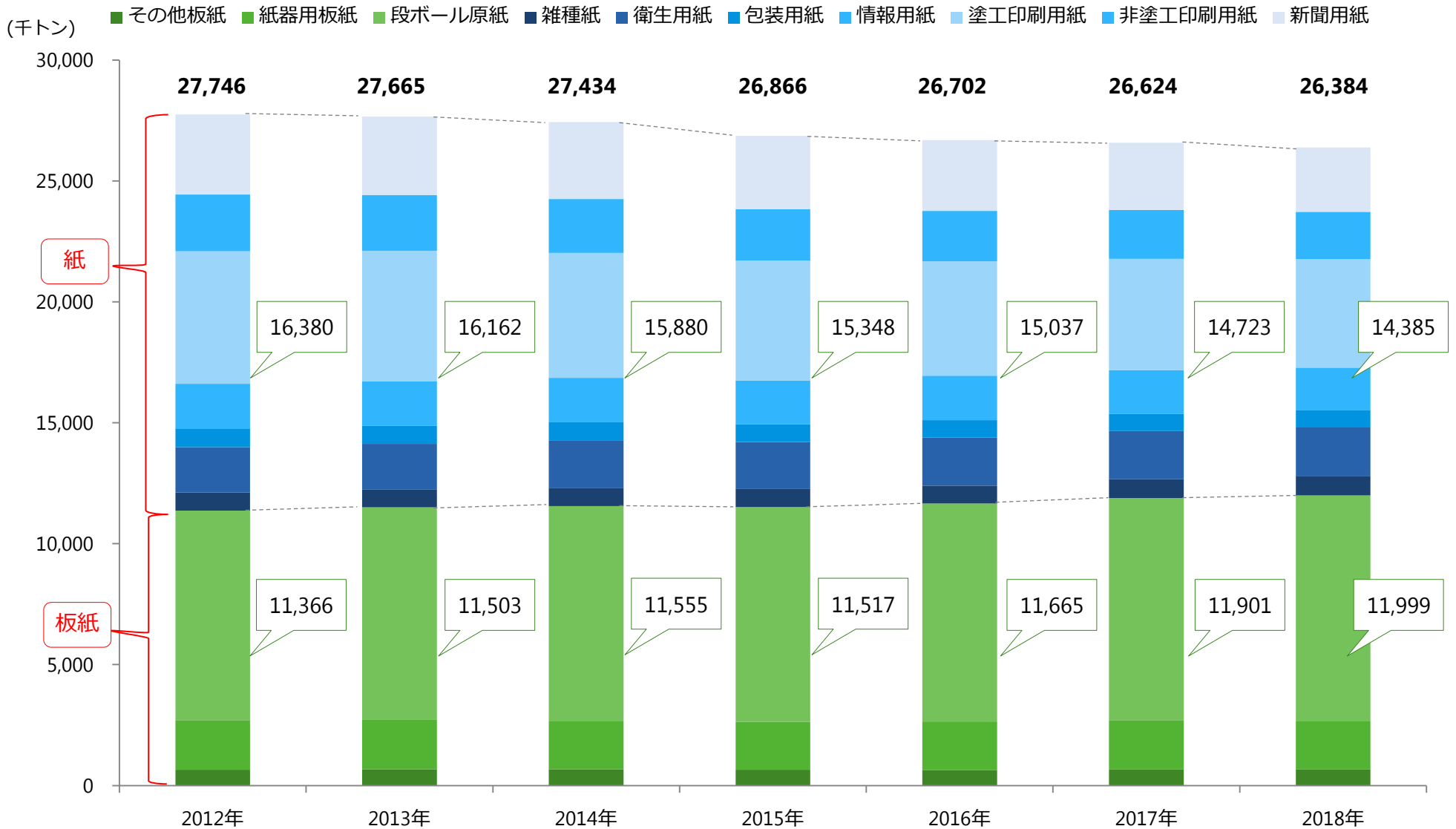
(単位：百万円)		2018年3月期 実績	2019年3月期修正予想		前年同期比	
				構成比	増減	増減率
国内拠点紙パルプ等 卸売事業	売上高	309,670	310,680	81.2%	+1,009	+0.3%
	セグメント利益	4,521	4,058	87.3%	△463	△10.2%
	利益率	1.5%	1.3%	—	△0.2 P	—
海外拠点紙パルプ等 卸売事業	売上高	66,810	70,927	18.5%	+4,117	+6.2%
	セグメント利益	△91	△57	△1.2%	+33	—
	利益率	—	—	—	—	—
不動産賃貸事業	売上高	1,233	1,227	0.3%	△6	△0.5%
	セグメント利益	561	647	13.9%	+86	+15.5%
	利益率	45.5%	52.8%	—	+7.3 P	—
合計	売上高	377,714	382,835	100.0%	+5,120	+1.4%
	セグメント利益	4,991	4,648	100.0%	△343	△6.9%
	調整額	△2,628	△2,661	—	△33	—
	営業利益	2,362	1,986	—	△376	△15.9%
	利益率	0.6%	0.5%	—	△0.1 P	—

※売上高・・・外部顧客への売上高



※売上高・・・外部顧客への売上高

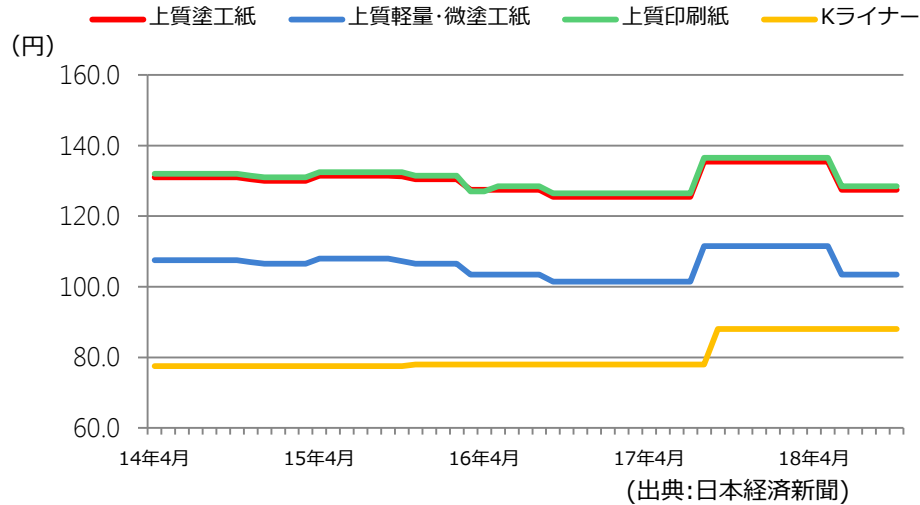
紙・板紙 内需試算推移及び見通し



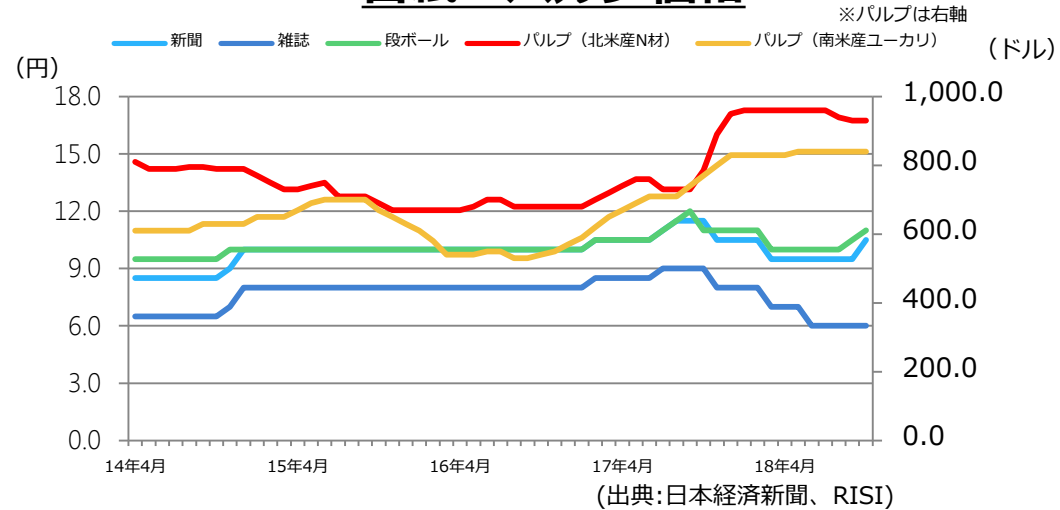
(出典: 日本製紙連合会)



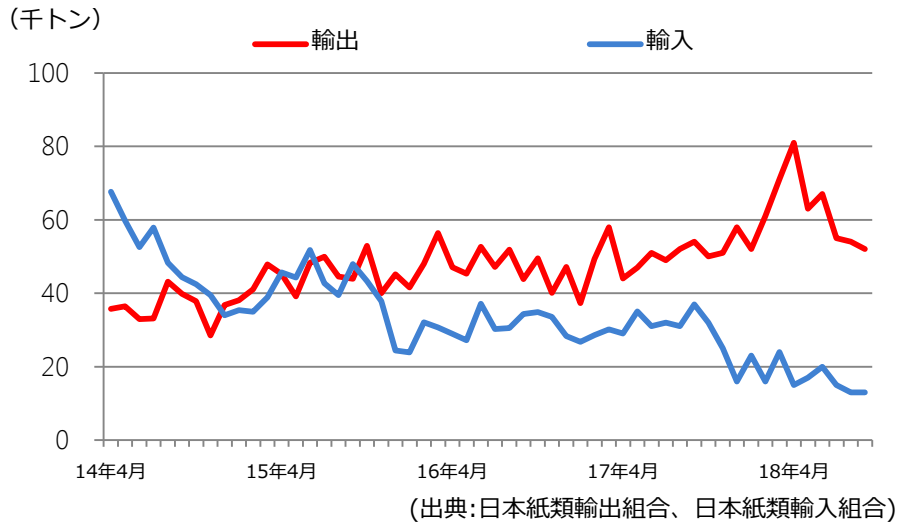
市況価格



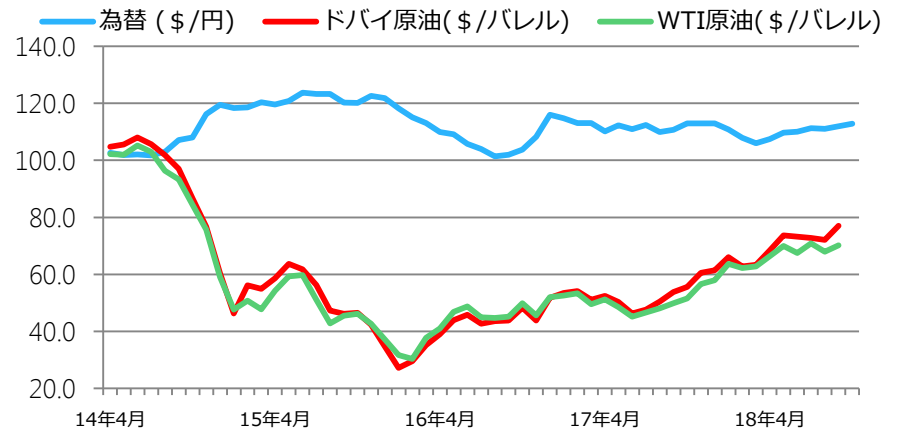
古紙・パルプ価格



塗工紙輸出入



為替・原油価格

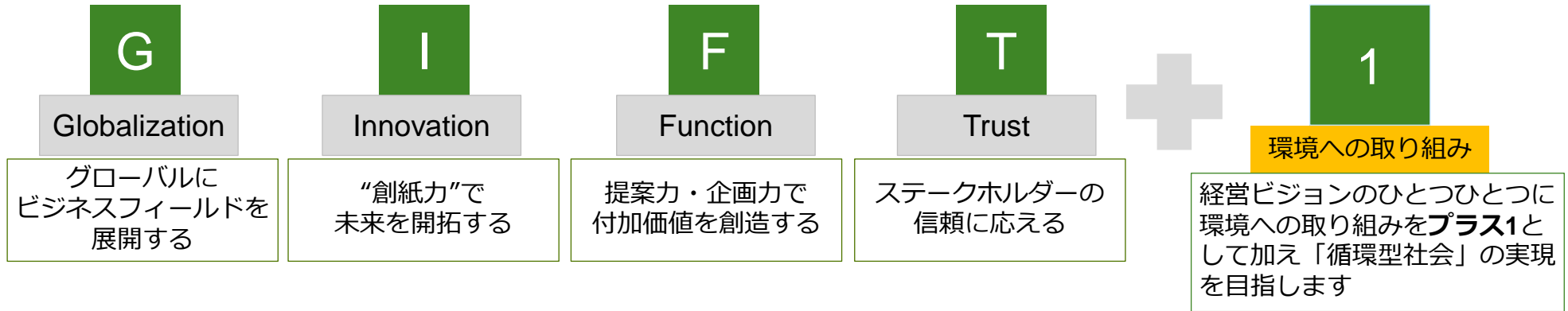




IV 中期戦略



■ 持続的成長に向けた四要素それぞれに環境への取り組みをプラス



- ◆ 自己資本比率の向上
- ◆ キャッシュフローの改善
- ◆ ROA・ROE向上
- ◆ 投資戦略の推進



- ◆ 総合循環型ビジネスの強化
- ◆ 国内事業再構築・グローバル展開の深化
- ◆ トータルパッケージの強化
- ◆ ソリューション事業の展開

- ◆ CSR経営の推進
- ◆ 環境関連商品の開発・拡充
- ◆ 再資源化事業の促進
- ◆ 事業継続計画（BCP）の確立

- ◆ 採用人事の多様化
- ◆ 教育プログラム拡充
- ◆ 従業員エンゲージメントの向上
- ◆ 継続雇用者の活躍促進
- ◆ 女性活躍推進の制度化



■ トータルパッケージの強化とグローバル展開の深化をドライバーとして再成長軌道に

事業領域の拡大

地域戦略

- アジアパシフィック圏における事業展開加速
- アジアパシフィック圏におけるM&A戦略の拡大

事業戦略

- 紙系包装材・フィルム系包装材・パルプ

新たな収益源の多様化

ソリューション事業への進出

- ソフトウェア等の開発によるオリジナルで利益率の高いソリューションビジネスを展開

収益基盤の強化

- 物流改革→物流合理化の継続的取組み
- 在庫効率化→受発注から納入までのプロセス改善
- 海外拠点の管理強化→本社のグローバルビジネス統括本部による管理体制の強化

既存事業の再構築

国内事業の再構築→国内シェアの維持確保



- 包装材事業（段ボール原紙・フィルム印刷加工）で国内外にアライアンス強化
- 川中分野への領域拡大



中国山東省の板紙工場に出資

- 2012年に海外展開の強化・板紙事業への投資等を目的に、香港最大の紙卸商である Samson Paper Holdings Ltd.の子会社 Mission Sky Group Ltd.の株式を22.3%取得、持分法適用関連会社に
- Mission Sky Group Ltd.の子会社である中国山東省の板紙工場 Universal Pulp & Paper (Shandong) Co.,Ltd.を通じて、包装材事業を強化・推進



- **包装材事業（段ボール原紙・フィルム印刷加工）で国内外にアライアンス強化**
- **川中分野への領域拡大**

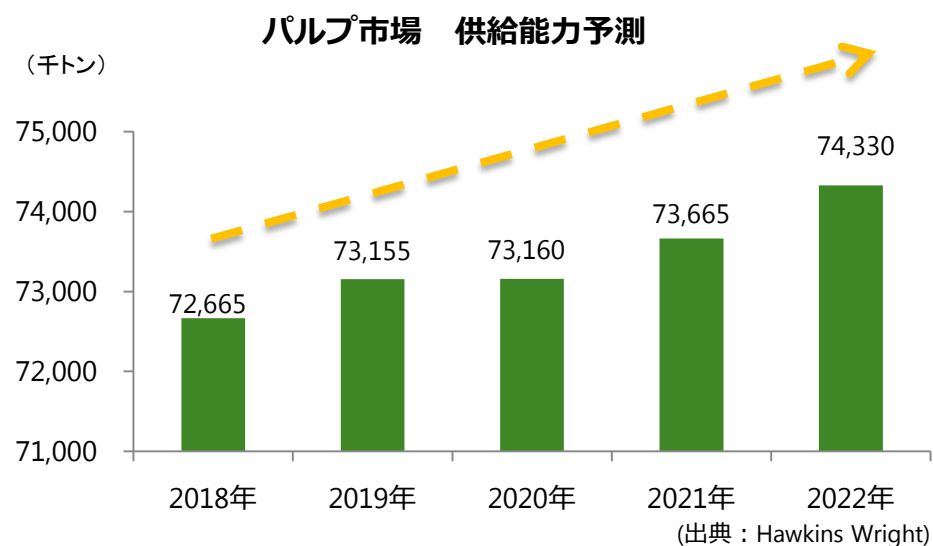
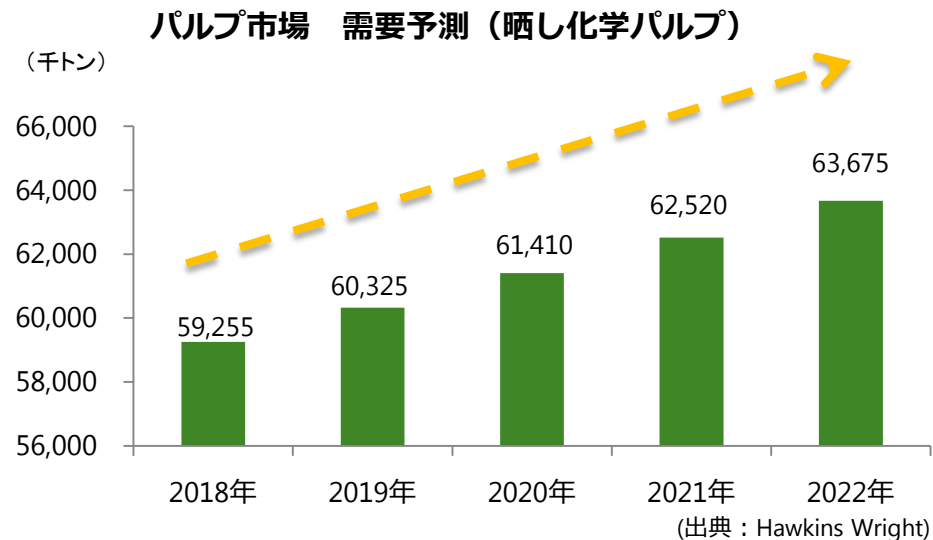


新希望六和食品控股有限公司との合併事業に出資

- 2017年3月に、中国の大手飼料メーカーである新希望集団との合併で、ソーセージ用ケーシング・ナイロンフィルムの印刷加工工場を設立
- 昨今の中国では環境規制が極めて厳格化
⇒日本の保有する高い環境技術と環境負荷の少ない高機能フィルムを当社が提供することにより、大きなアドバンテージを持ち、現地政府からも高い評価を受けている
- 今後は本件を皮切りに、国内外の軟包装コンバーティング事業などといった川中への参入も検討



■ 中期的に需要拡大が見込まれる衛生用紙や新市場を見据え、原料となるパルプの販売を強化



パルプ市場を取り巻く環境

- ① インバウンド効果による家庭紙の需要増加
 - ② 高齢化による衛生紙の需要増加
 - ③ 環境に配慮した木質繊維の需要増加 等
- ⇒パルプ市場は需給共に増加する見通し

当社の強み

- 住商紙パルプが培ったパルプメーカーとの信頼関係
- 国際紙パルプ商事が展開してきた海外ネットワーク

**当社の強みを活かし、パルプの
販売を強化
同業他社との差別化を図る**



トピックス① 脱プラスチック、紙製品への回帰

■ プラスチックによる海洋汚染の問題が深刻化、紙回帰の動きが起こっている



13. 気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



14. 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



15. 陸の豊かさも守ろう
陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



- プラスチック製品による海洋汚染が世界的に深刻な問題に
- 日本でも外食産業を中心に脱プラスチックを宣言する企業が相次ぐ
- プラスチック製品の代替として、紙ストローや紙バッグ等の紙製品に注目が集まっている



トピックス② バイオマス発電所運転支援システムの開発を開始

■ バイオマス発電事業者の抱える課題解決を目的とした発電所運転支援システムの開発を開始

2016年に木質バイオマス発電事業会社へ出資、2017年より
バイオマス発電用燃料の販売を開始



バイオマス発電事業者が収益・コストの最適化や運転技術
の最適化・合理化等の課題を抱えていることが判明

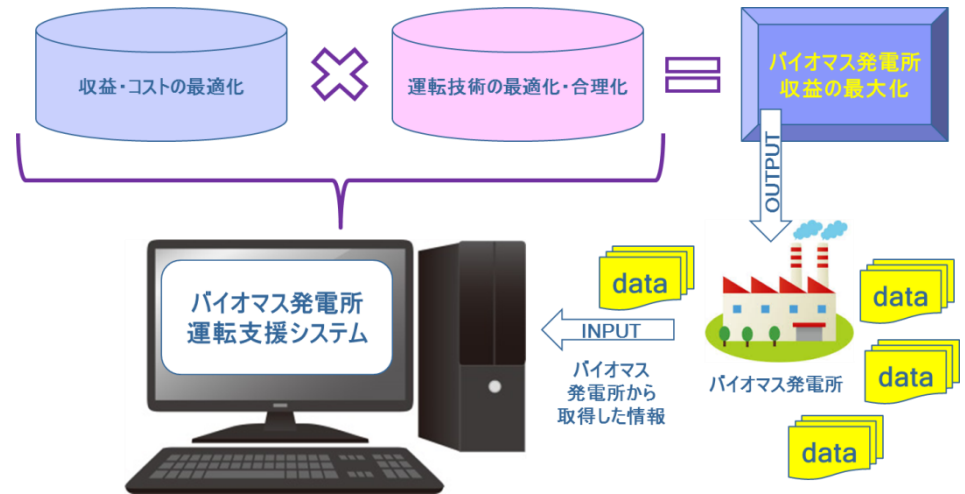


バイオマス発電事業者が抱える全般的な課題解決を目的と
した発電所運転支援システムの開発及び販売体制の構築に
着手することを決定



IoTやAIを活用した高度なシステムにより、バイオマス発電
所のオペレーション全体を支援、バイオマス発電市場にお
ける当社のプレゼンス向上を図る

バイオマス発電所運転支援システム イメージ図

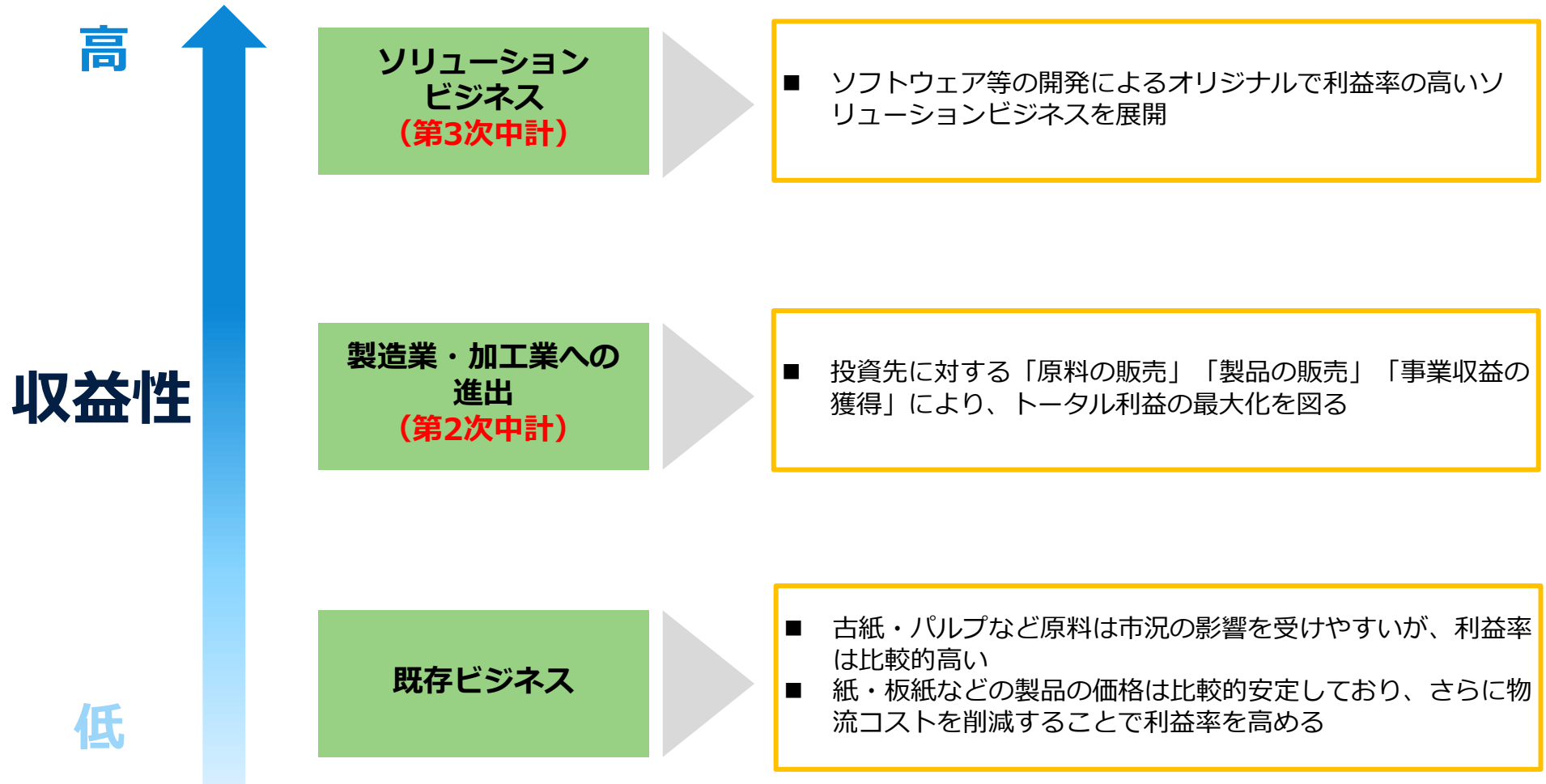


バイオマスパワーテクノロジーズ
松阪木質バイオマス発電所





■ 市況の影響を受けにくいオリジナルビジネスの開発と、製造業・加工業への進出





■ 創業100周年に向けて成長軌道へ

成長著しいアジアにフォーカス

国内事業の基盤強化

総合循環型企業の確立

成長エンジン・海外展開への投資

アジアNo1.の紙商
目指す！





■ 株主への利益配分の重要性を十分に認識し取り組んでまいります

	2017/3期実績	2018/3期実績	2019/3期計画
一株当たり配当金	8円	8円	10円
目標とする配当性向	30%		

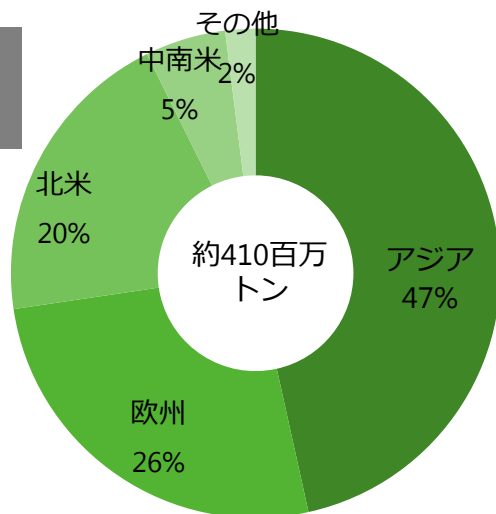


APPENDIX

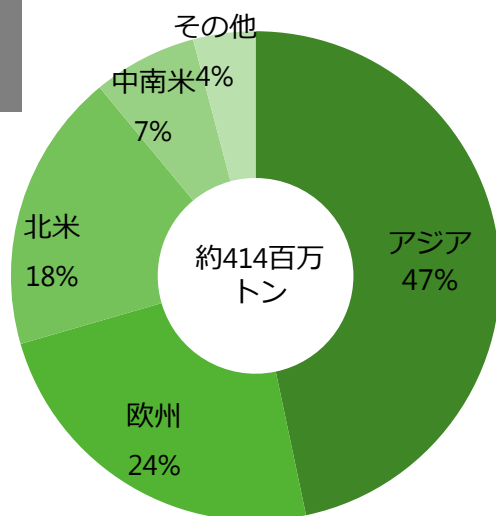


■ 世界の紙・板紙の生産・消費共、アジア地域が伸長、Eコマースの拡大により段ボール需要増

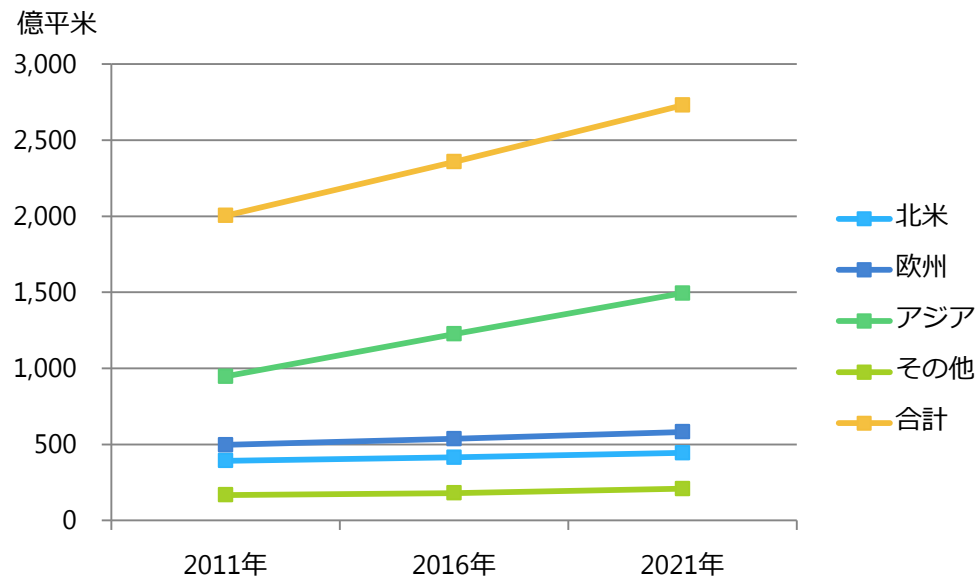
世界の紙・板紙
生産量



世界の紙・板紙
消費量



世界の段ボール市場規模予測



単位：億平米

地域	2011年	2016年	2021年	11年⇒21年
北米	393	415	444	113.0%
欧州	497	537	582	117.1%
アジア	947	1,225	1,494	157.8%
その他	167	180	209	125.1%
合計	2,004	2,357	2,729	136.2%

注記：21年は予測

出所：AF & PA

出所：RISI

紙・板紙 内需試算推移



(単位：千トン)

	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	見込み	前年比	見通し	前年比
新聞用紙	3,305	+1.8%	3,247	△1.7%	3,181	△2.0%	3,033	△4.6%	2,926	△3.5%	2,780	△5.0%	2,663	△4.2%
非塗工印刷用紙	2,350	△3.2%	2,301	△2.1%	2,230	△3.1%	2,125	△4.7%	2,091	△1.6%	2,027	△3.1%	1,957	△3.5%
塗工印刷用紙	5,476	△2.3%	5,391	△1.5%	5,170	△4.1%	4,954	△4.2%	4,743	△4.3%	4,623	△2.5%	4,483	△3.0%
情報用紙	1,849	△0.2%	1,839	△0.6%	1,831	△0.5%	1,813	△1.0%	1,836	+1.3%	1,801	△1.9%	1,765	△2.0%
印刷・情報用紙	9,676	△2.1%	9,531	△1.5%	9,231	△3.2%	8,893	△3.7%	8,670	△2.5%	8,451	△2.5%	8,205	△2.9%
包装用紙	776	△6.0%	761	△1.9%	766	+0.6%	729	△4.8%	717	△1.7%	712	△0.6%	712	△0.1%
衛生用紙	1,880	+0.4%	1,895	+0.8%	1,945	+2.5%	1,946	+0.1%	1,994	+2.5%	2,004	+0.5%	2,024	+1.0%
雑種紙	744	△3.2%	728	△2.1%	758	+4.1%	747	△1.4%	730	△2.3%	775	+6.1%	781	+0.8%
紙計	16,380	△1.3%	16,162	△1.3%	15,880	△1.7%	15,348	△3.3%	15,037	△2.0%	14,723	△2.1%	14,385	△2.3%
段ボール原紙	8,684	△1.3%	8,788	+1.2%	8,877	+1.0%	8,884	+0.1%	9,022	+1.5%	9,209	+2.1%	9,320	+1.2%
紙器用板紙	2,031	△4.7%	2,046	+0.7%	2,004	△2.0%	1,983	△1.1%	1,999	+0.8%	2,033	+1.7%	2,021	△0.6%
その他板紙	651	△3.1%	669	+2.8%	674	+0.7%	650	△3.4%	645	△0.8%	659	+2.3%	659	△0.0%
板紙計	11,366	△2.0%	11,503	+1.2%	11,555	+0.5%	11,517	△0.3%	11,665	+1.3%	11,901	+2.0%	11,999	+0.8%
紙・板紙合計	27,746	△1.6%	27,665	△0.3%	27,434	△0.8%	26,866	△2.1%	26,702	△0.6%	26,624	△0.3%	26,384	△0.9%

(出所：日本製紙連合会)



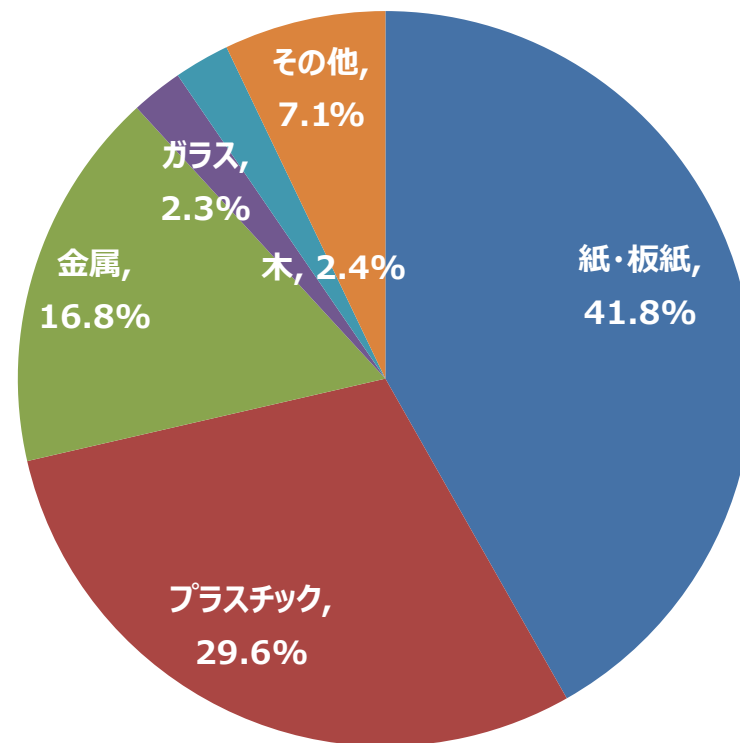
■ 包装材のうち、紙や板紙の構成比は40%以上を占め、前年比でも成長している

包装産業出荷統計（2016年）

単位：億円

製品材	出荷額	構成比	前年比
紙・板紙	23,627	41.8%	100.4%
プラスチック	16,745	29.6%	92.7%
金属	9,487	16.8%	100.3%
ガラス	1,282	2.3%	99.0%
木	1,379	2.4%	99.9%
その他	4,023	7.1%	98.1%

出所：包装技術協会

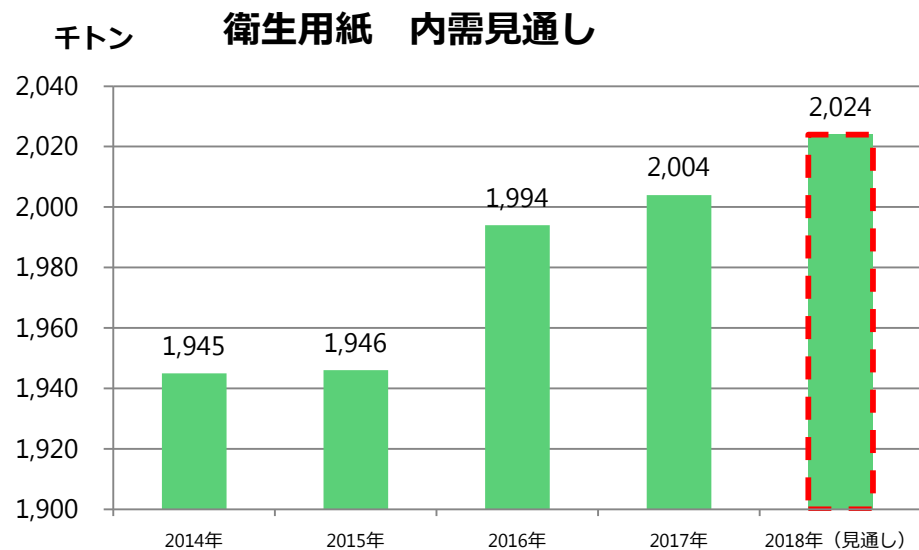


製品出荷金額（2016年）

単位：十億円

業種	出荷金額
パルプ・紙・紙加工品	7,319
印刷	5,458

出所：経済産業省



出所：日本製紙連合会「2018年紙・板紙内需試算報告」

国内の衛生用紙・家庭紙需要の伸長率

品目	2016年 前年比
ティッシュペーパー	102%
トイレットペーパー	102%
タオルペーパー	123%
合計	104%
紙おむつ (大人用)	113%
紙おむつ (乳幼児)	95%
合計	102%

インバウンド
需要

高齢者増加
品質向上

出所：矢野経済研究所「紙パルプ産業白書2018年版」

世界の紙おむつ小売販売額 (2016年)

423億1,900万ドル

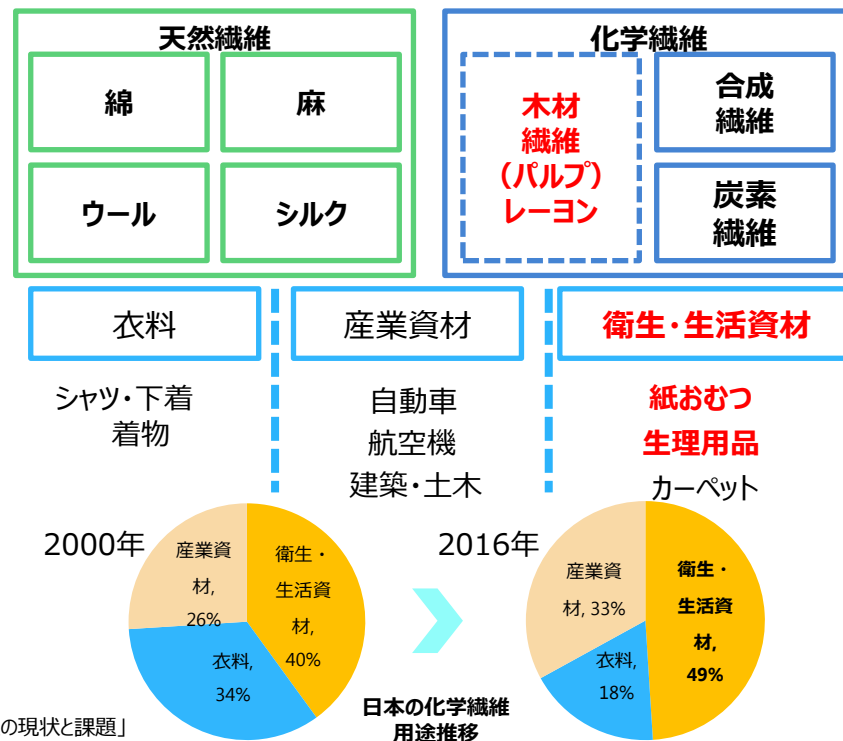
前年比+5.4%

出所：日経業界地図2018年版

世界の高齢者人口予想

2012年 5億6200万人 → 2050年 16億人
(2.8倍)

(米国情勢調査局)

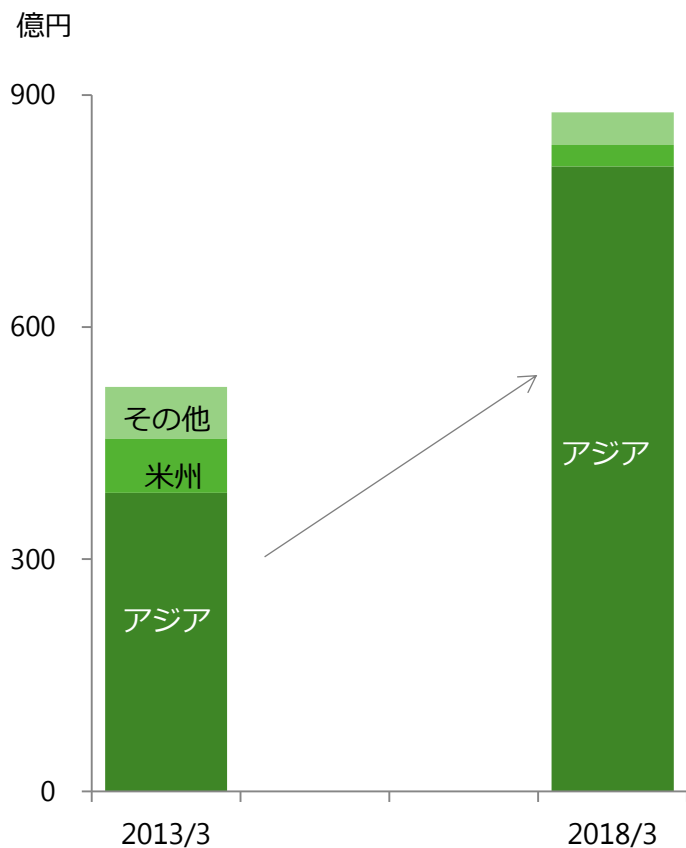


出所：経済産業省「繊維産業の現状と課題」

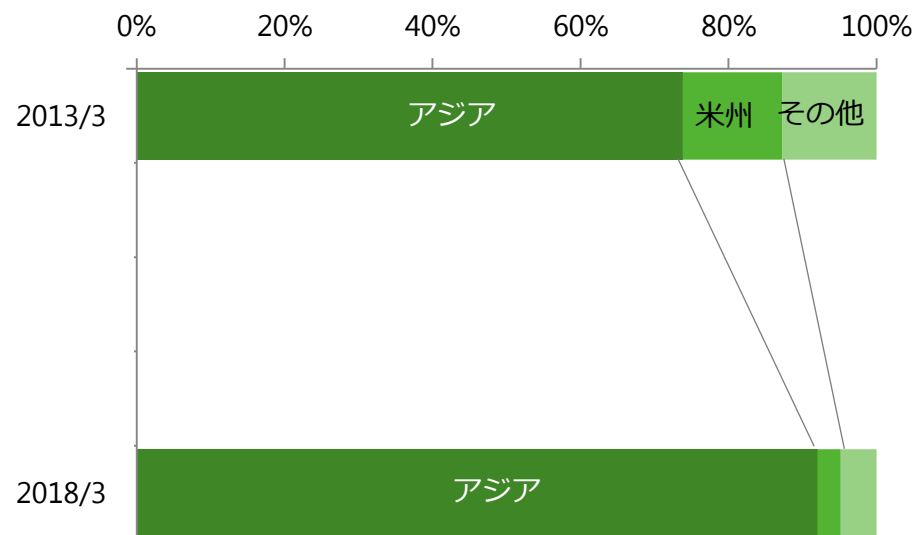


■ 経済成長背景に紙需要が著しいアジア圏への売上シフトが顕著

仕向け先別売上高

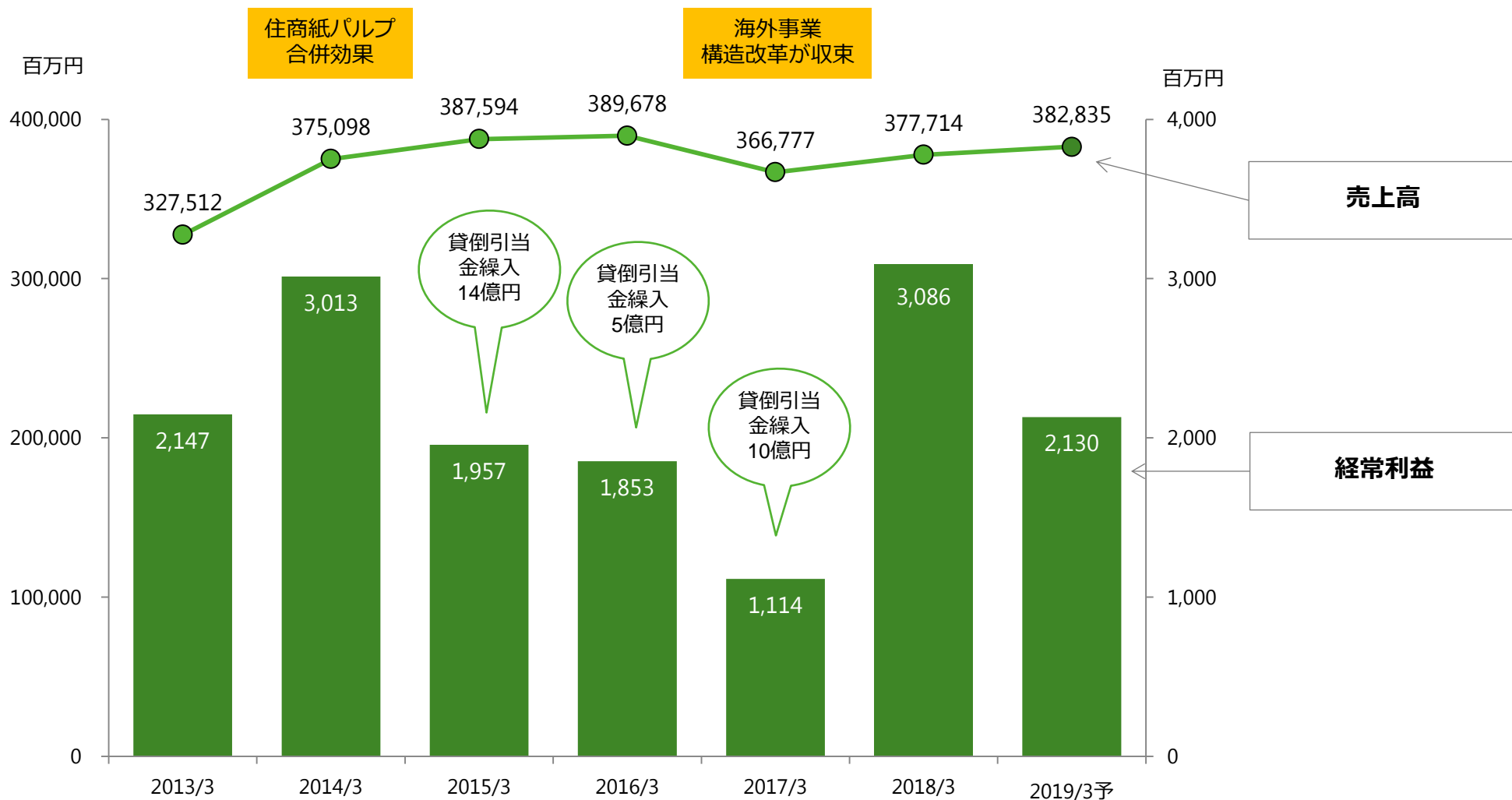


仕向け先別売上高構成比

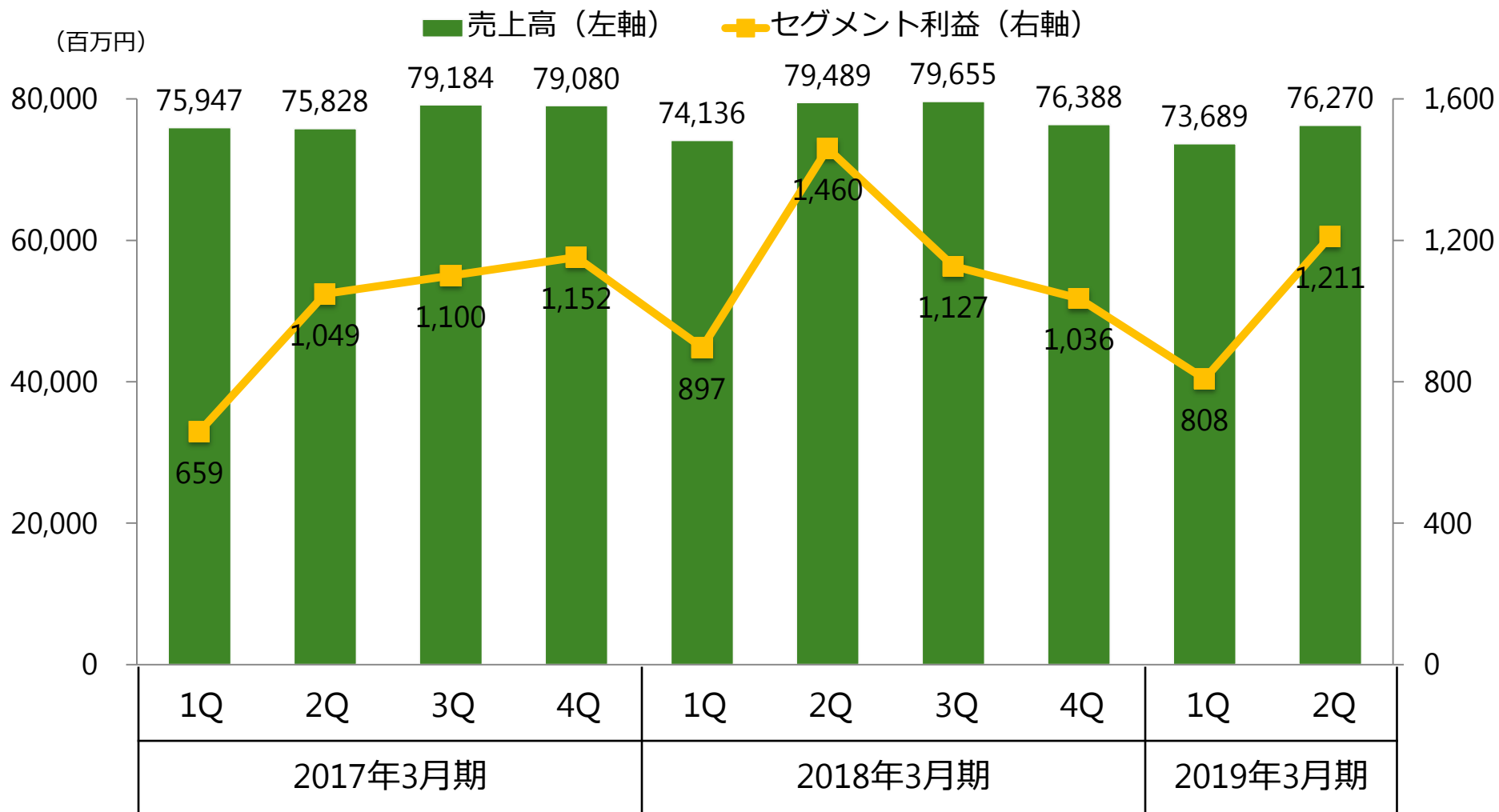




■ 海外拠点の事業構造改革が一段落、業績は2016年度で底入れ・回復へ

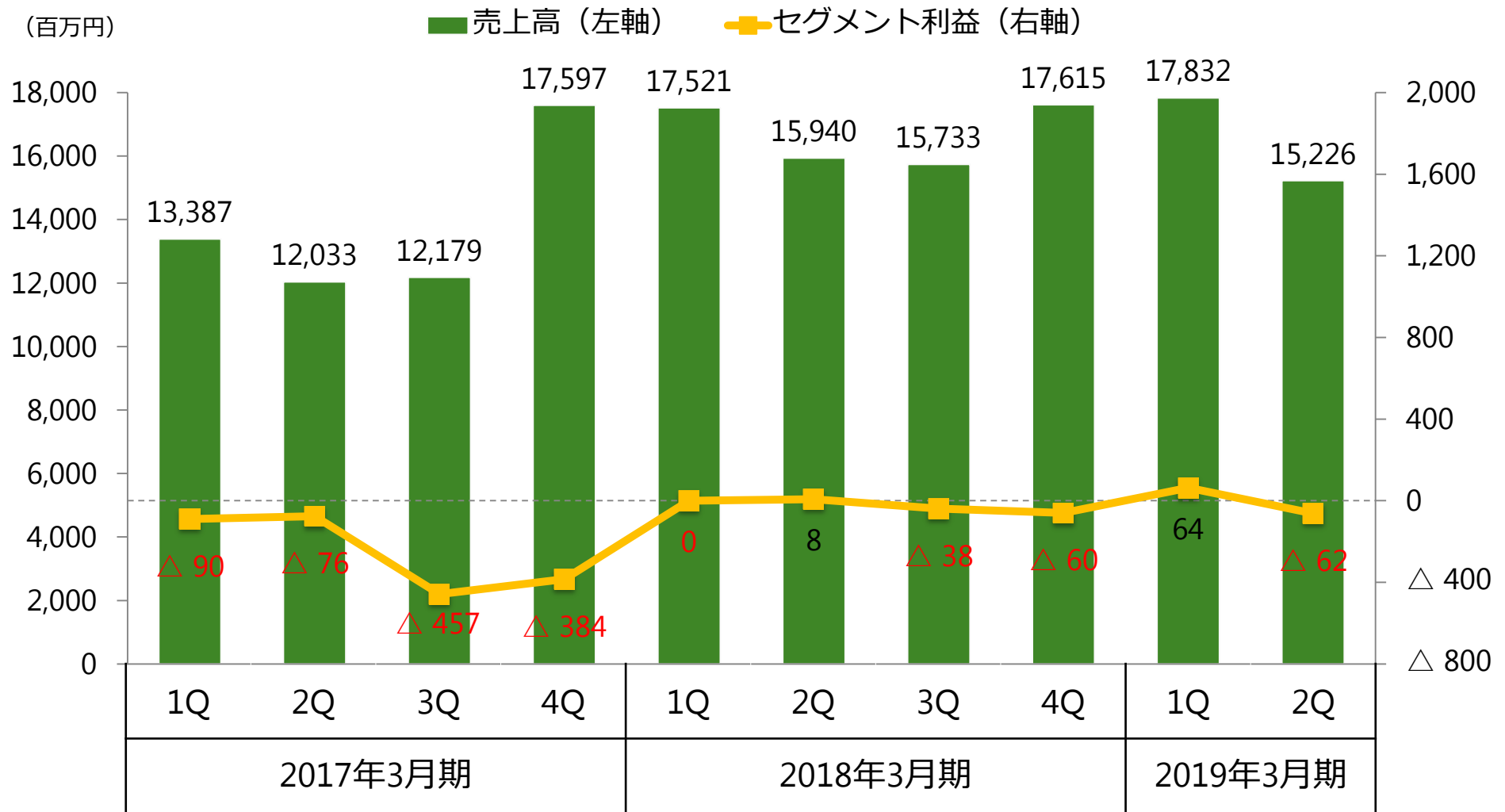


国内拠点紙パルプ等卸売事業 四半期業績推移



※売上高・・・外部顧客への売上高

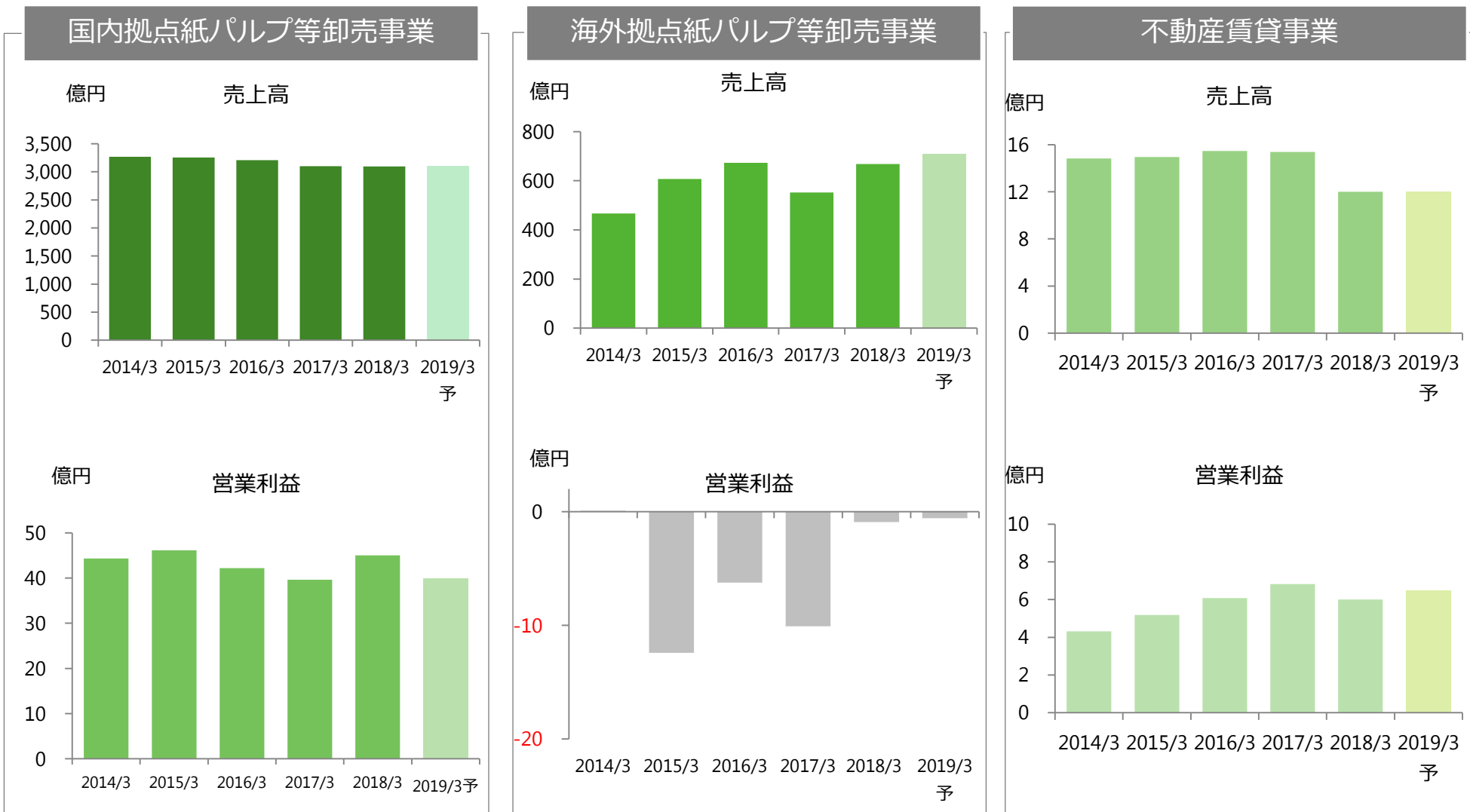
海外拠点紙パルプ等卸売事業 四半期業績推移



※売上高・・・外部顧客への売上高



■ 海外拠点のテコ入れ収束 不動産賃貸事業が安定収益として下支え





- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。



問合せ先

国際紙パルプ商事株式会社 IR・広報課

TEL03-3542-4169

✉investor_relations@kppc.co.jp